



前衛

誰の罪でもない
自ら求めて自ら苦しむことは

折も折 前衛どうしが

ぶつかりあう

火花が散る

耳を通り抜ける吹く風の音

その日は 緑深くなつた柳が

枝を垂れており

花も言うに言われぬ美しさを輝かしていた

日の光は照らさぬ隈もなく

春の光はうららかに零れる

次の瞬間 目は球を追う

（写真 経済学部四年 滝本勇紀）
（協力 体育会ラグビー部）